

住環境研究部会 平成 23 年度事業計画 (H23/7/1～H24/6/30)

A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)

No	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主		
	場所		成果
1	住宅改修	H. 23 未定	聴覚障害者の自邸改修
	H 邸		
2	他未定		
3			
4			
5			
6			

住環境研究部会 平成 23 年度活動計画 (H23/7/1～H24/6/30)

B：部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)

No	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		成果
	場所		
1	学習会	H. 23 9. 17	「介護地獄」と「尊厳死」
2	見学会	H. 23 10. 15	帝塚山福祉会 特別養護老人ホーム・ケアハウス他見学
3	学習会	H. 23 11. 19	「PPK の法則」「健康維持のスイッチ」「老化防止」
4	学習会	H. 23 1. 21	「これでいいのか介護保険」「これからの住宅改修」
5	見学会	H. 24 2. 18	某有料老人ホーム
6	学習会	H. 24 3. 17	「老いと死を考える」

住環境研究部会 平成 23 年度予算計画 (H23/7/1~H24/6/30)

事業・部会 No	事業名	収入	支出		余剰金
	住宅改修	300,000	285,000		15,000
			諸謝礼金	285,000	
合計					

木工部部会 平成 23 年度事業計画 (H23/7/1～H24/6/30)

A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)

No	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主		
	場所		成果
1	さざなみ木工教室	1 1 月	住之江区老人に対する木工教室
	住之江区社協さざなみ		さざなみ年間計画の一環での木工遊び（フクロウのエンピツ立て）
	住之江区区民センター		
2	池島ふれあいまつり	1 1 月 2 3 日	池島地区の市民祭りへの参加
	社会福祉法人海子学園		子ども木工教室（自由木工作品づくり）
	池島公園		
3	大阪市子どもカーニバル	4 月	大阪市子どもカーニバルでの自由木工教室への参加
	大阪市ボランティアセンター		恒例の大阪市民、子どもに対する木工遊び、PR 効果は大。
	大阪城公園広場		
4			
5			
6			

木工部部会 平成 23 年度活動計画 (H23/7/1～H24/6/30)			
B：部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
No	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		成果
	場所		
1	木工部部会	都度決定	発生行事の準備、メンバー確定、作業確認等。
	基本部会員全員		今後初の展開でありメンバーで協力し円滑運用する。
	都度決定する		
2			
3			
4			
5			
6			

木工部部会 平成 23 年度予算計画 (H23/7/1～H24/6/30)					
事業・部会 No	事業名	収入	支出		余剰金
A-1、	さざなみ木工教室	8,100円	8,100円		0円
			給与 3H×800	4,800	
			交通費千円×2人	2,000	
			材料費	1,300	
A-2、	池島ふれあいまつり	20,000円	35,000円		マイナス 15000 円
			給与 5H×800	24,000	
			交通費千円×6人	6,000	
			車両費	5,000	
A-3、	大阪市子どもカーニバル	0円	10,000円		マイナス 10,000 円
			交通費千円×10	10,000	
	木工倉庫トランクルーム	0円	204,000円		マイナス 204000 円
			倉庫代 17千円×12月	204000	
前期 A-7	青葉園柵 4 台、プラットホーム の製作	63,272円	59,272円		4,000円
			給与 材料費	16,000 43,272	
合計		91,372円	316,372円		マイナス 225,000 円
			給与 交通費 材料費 車両費 倉庫費用	44,800 18,000 44,572 5,000 204000	

研修部会 平成 23 年度事業計画 (H23/7/1～H24/6/30)

A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)

No	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主		成果
	場所		
1			
2			
3			
4			
5			
6			

研修部会 平成 23 年度活動計画 (H23/7/1～H24/6/30)

B：部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)

No	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		成果
	場所		
B-1	パソコン教室	7/9	メールの送受信、ワード、エクセルの操作に慣れる。
	6名		メール送受信、ワード、エクセルでの文章作成。
	大阪市社協一階		
B-2	パソコン教室	9/3	メールの送受信、ワード、エクセルの操作に慣れる。
	6名		メール送受信、ワード、エクセルでの文章作成。
	大阪市社協一階		
B-3	パソコン教室	10/1	メールの送受信、ワード、エクセルの操作に慣れる。
	6名		メール送受信、ワード、エクセルでの文章作成。
	大阪市社協一階		
B-4	パソコン教室	11/5	メールの送受信、ワード、エクセルの操作に慣れる。
	6名		メール送受信、ワード、エクセルでの文章作成。
	大阪市社協一階		
B-5	パソコン教室	12/3	メールの送受信、ワード、エクセルの操作に慣れる。
	6名		メール送受信、ワード、エクセルでの文章作成。
	大阪市社協一階		
B-6	パソコン教室	2/4	メールの送受信、ワード、エクセルの操作に慣れる。
	6名		メール送受信、ワード、エクセルでの文章作成。
	大阪市社協一階		

研修部会 平成 23 年度予算計画 (H23/7/1～H24/6/30)

事業・部会 No	事業名	収入	支出		余剰金
B-1	パソコン教室	¥3, 000	¥2, 500		500
			諸謝礼金	2, 500	
B-2	パソコン教室	¥3, 000	¥2, 500		500
			諸謝礼金	2, 500	
B-3	パソコン教室	¥3, 000	¥2, 500		500
			諸謝礼金	2, 500	
B-4	パソコン教室	¥3, 000	¥2, 500		500
			諸謝礼金	2, 500	
B-5	パソコン教室	¥3, 000	¥2, 500		500
			諸謝礼金	2, 500	
B-6	パソコン教室	¥3, 000	¥2, 500		500
			諸謝礼金	2, 500	
合計		¥18, 000		¥15, 000	¥3, 000

福祉用具部会 平成 23 年度事業計画 (H23/7/1～H24/6/30)			
A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)			
No	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主		成果
	場所		
1			
2			
3			
4			
5			
6			

福祉用具部会 平成 23 年度活動計画 (H23/7/1～H24/6/30)			
B：部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
No	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		成果
	場所		
B-1	車いす情報考査	H23/7	大阪市まちづくり条例を調べ、「車いす適合マーク」との関係を調査する。
	ATCふくてつく事務局		
B-2	車いす情報考査	H23/8	前期活動内容を継続する。
		～	1、「脅威のハイテク車いす」電動車いすを研修する。
		H23/12	2、車いす姿勢保持シーティング技術情報を収集する。
3	車いす研修考査	H24/2	研修活動内容を継続する。
		～	
		H23/6	
4			
5			
6			

外部連携＋こむねつと事業部会 平成 23 年度事業計画（H23/7/1～H24/6/30）

A：事業活動（有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動）

No	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主		成果
	場所		
1	外部連携事業	通年	有ボ連、大阪 NPO センター、大阪市 VIC、阿倍野の福祉環境を考える会、ななとこ庵・・・その他、多くの団体・活動主体・個人との交誼を深め、それぞれとの関係で意義ある活動に参画する。
	有ボ連、NPO センター ななとこ庵 ほか		①広範囲の情報を共有することによって、地域福祉課題をいち早く正確に把握する。
	各団体		②人的ネットワークを拡大し、協働事業発信の可能性を高める。 ③実際に何らかの協働事業に着手する。
2	福祉サービス第三者評価 事業推進委員会	通年	評価機関を代表する唯一の推進委員として、評価機関の要望事項や懸案を推進委員会の協議に反映させる。
	大阪府福祉サービス第三 者評価事業推進委員会		評価機関にとって好ましい方針決定を誘導して、評価機関活動の発展と円滑化を起動させ、併せて推進委員会における評価機関のポジションをより優位に位置づける。
	大阪府庁		
3	福祉サービス第三者評価 評価機関連絡会・幹事会	通年	自主独立した連絡会の組織づくりに取り組む。 参加機関の意思共有をより厚くするための仕組みを構築する。
	大阪府認証評価機関 17 のうち 16 評価機関 (幹事機関 5)		①評価機関連絡会をこれまでの単なる連絡会から脱皮させ、自立した運動体として再編成し、それ自身“新しい公共”を目指す。
	連絡会：府庁会議室 幹事会：府社協議室 および幹事機関事務所 その他MLを活用して 頻繁に意見交換		②評価機関・評価調査者のスキルアップを達成するための現実的・効果的な取り組みを実施する。福祉サービス第三者評価の第三者評価にも取り組み、市民とサービス事業者の理解と信頼を得る。 ③福祉サービス事業者との連携（協働研究など）を深める。 ④市町村行政への働きかけを強化する。 ⑤市民啓発に取り組む ⑥他府県の評価機関およびその団体との連携を図り、第三者評価業務の広域化を実現するための端緒を掴む。
4	福祉サービス第三者評価 評価事業	未定	評価機関ふくてつ々の新体制確立後に、実務を 1 件以上受託し、評価活動を行う。 活動費は 4,000 円／日とし、半日単位で計上する。
	未定（目標 2 件）		当会が、これまで培った見識を発揮して、ふくてつくならではの評価を実施することによって、評価機関としての実績を世に問う。当会が、（社会貢献事業）
	未定		
5	建物定期検査報告業務	H23. 8～	活動を再開して、本年度中に少なくとも 2 件の調査活動を行う。 活動費は 8,000 円／日とし、半日単位で計上する。
	未定（目標 2 件）		課題の着眼と技術を蓄積し、H24. 1 以降に予定する研究会に発展させる。併せて、本業務から得られる収益によって、部会活動を経済的に支える。（収益事業）
	未定		

外部連携＋こむねっと事業部会 平成 23 年度活動計画 (H23/7/1～H24/6/30)

B：部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)

No	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		成果
	場所		
1	こむねっと事業部の再構築（総務）	H23. 8 月	事業再開に向けて、新規約（理念・基本方針・活動指針）を作成。 新たにアクティブメンバー（固定せず、事業ごと）を募集する。 メンバーはふくてっくの内外を問わない。 運営を司るコアメンバーはMLを活用して迅速頻繁に意思を疎通し、 ふくてっくメンバー全員への情報提供は例会報告およびHPによる。 事業活動に参加して部会を支えるサポートメンバーを募る。 福祉サービス第三者評価および建物調査業務の料金規定改定に伴い、 両パンフの改訂を行って、受注に向けた取組を具体化する。
	10名程度		常に迅速な情報共通を保って、積極的に活動する体制を構築し、 事態に即応して速やかな行動を興せるチームとする。
	ふくてっく事務局ほか		
2	福祉サービス第三者評価活動再開体制づくり	H23. 8 月	積極的に評価事業受託を目指して、料金基準等を一新する。 評価者メンバーも現実に評価業務を担えるべくスキルアップシステムを整備し、ふくてっく外部からも人材を招聘して体制を一新する。 評価機関の特徴を鮮明にして、そのPR活動を強化する。
	6名程度		本年度中に少なくとも1件の評価活動に取り組む体制を確立し、 受注を実現する。
	ふくてっく事務局ほか		
3	建物定期検査報告業務活動再開体制づくり	H23. 8 月	前項同様に、料金基準等を一新する。 検査機器を再び部会管理とし、その整備とグレードアップに取り組む。 検査を検査だけに終わらせず、その成果から次に繋がるノウハウの抽出と蓄積を目指すシステムを構築する。
	3名程度		本年度中にすくなくとも2件の調査業務に取り組む体制を確立し、 受注を実現する。
	ふくてっく事務局ほか		
4	シリーズ学習	H23. 8～ H24. 6	8/20（部会）児童福祉 10月（例会）最近の福祉施設づくり事情 12月（例会）障害者の虐待問題 12/15（部会）ミッション確認 2/18（部会）児童福祉・障害福祉に関する課題確認 ・・・以降の計画未定、状況をみて継続的に計画する。
	未定		児童福祉という新たな視点を加えて、インクルーシブな地域福祉の成熟を目指すために、必要な基礎知識を習得した上で、メンバー個々の生活視点から、市民活動課題を確認する。
	社会福祉センター及び ふくてっく事務局		
5	医療・福祉環境維持課題研究会の発足	H24. 1～	住環境研究部会（畑会員）と協働して、医療・福祉に亘る環境の健全な維持を達成するための課題と方策を研究する。
	未定		研究の過程から、具体的な活動課題を抽出して、今後のミッションに繋げる。 具体のテーマで、他の部会が担当すべき領域は、その部会への問題提起を行い、場合によっては協働する。
	未定		

外部連携＋こむねっと事業部会

平成 23 年度予算計画 (H23/7/1～H24/6/30)

事業・部会 No	事業名	収入	支出		余剰金
A-1	外部連携事業	¥0	¥41,000		-41,000
			旅費交通費	15,000	
			通信運搬費	2,000	
			交際費	20,000	
			雑費（印刷等）	4,000	
A-2, 3	福祉サービス第三者評価事業 推進委員会・連絡会・幹事会	¥0	¥21,000		-21,000
			謝金（会議出席）	12,000	
			旅費交通費	5,000	
			通信運搬費	2,000	
			雑費（印刷等）	2,000	
A-4	福祉サービス第三者評価事業 評価活動（2件）	¥189,000	¥132,400		56,600
			謝金（評価活動）	120,000	
			旅費交通費	6,000	
			通信運搬費	2,000	
			租税公課	400	
			雑費（印刷等）	4,000	
A-5	建物定期検査報告業務（2件）	¥506,500	¥348,400		158,100
			謝金（検査活動）	300,000	
			旅費交通費	9,000	
			通信運搬費	2,000	
			租税公課	400	
			支払い手数料	29,000	
			雑費（印刷等）	8,000	
B-1	こむねっと事業部会総務	¥0	¥54,000		-54,000
			雑費（印刷等）	20,000	
			外注費（部会総務）	34,000	
B-2	福祉サービス第三者評価事業 活動再開体制づくり	¥0	¥37,222		-37,222
			謝金（講師）	22,222	
			研修費	15,000	
B-3	建物定期検査報告業務 活動再開体制づくり	¥0	¥15,000		-15,000
			消耗備品	15,000	
B-4	シリーズ学習	¥0	¥4,000		-4,000
			雑費（印刷等）	4,000	
B-5	医療・福祉環境維持課題 研究会の発足	¥0	¥4,000		-4,000
			雑費（印刷等）	4,000	
合計		¥695,500	¥657,022		38,478
			謝金	454,222	
			旅費交通費	35,000	
			通信運搬費	8,000	
			消耗品費	15,000	
			租税公課	800	
			研修費	15,000	
			支払手数料	29,000	
			雑費	46,000	
			外注費	34,000	
			交際費	20,000	

東大阪部会 平成 23 年度事業計画 (H23/7/1～H24/6/30)

A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)

No	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主		成果
	場所		
1	東大阪市高齢者・重度障害者住宅改造費助成制度適正検証事業	H23 年 7/1～ H24 年 6/30	目的：高齢者・障がい者の為の住環境のバリアフリー化を促進し、データー収集分析を踏まえ、施策提言に結びつける。高齢者・障がい者の在宅生活の継続に寄与する共に、施工業者のスキルアップや地域福祉力の育成に寄与する。 内容：検証活動（建築士・セラピスト）・事前相談会・報告書作成・市民啓発資料作成・データー収集
	東大阪市		高齢者・障がい者の在宅生活の継続に寄与する。 H22 年度検証活動の実績報告と分析を踏まえ、本制度の課題と今後の展望について報告書をもって提言し、施策の活性化につながる。
	東大阪市内		
2	東大阪市介護保険住宅改修適正検査事業	H23 年 7/1～ H24 年 6/30	目的：住宅改修の質的向上を第一義とし、副次的に不適切な介護保険適用を抑制する。 内容：検証活動・報告書作成・講習会講師・データー収集
	東大阪市		住宅改修を伴うケアプランの質的向上、施工業者の不正の抑止と資質の向上を誘導する。 H22 年度検証活動の実績報告と分析を踏まえ、本制度の課題と今後の展望について報告書をもって提言し、施策の活性化につながる。
	東大阪市内		
3	大阪府下自治体バリアフリー施策実態調査	H23 年 9 月～ 11 月予定	目的：大阪府下自治体における高齢者・障がい者の住宅改造助成制度諸手続きを調査し、東大阪市助成制度の活性化に生かす。また、本制度申請者の適切、且つ、負担の軽減に寄与する。 内容：取組状況を調査し、HP 上で情報提供を行う。
	大阪府下自治体		東大阪市改造助成制度の迅速な手続き及びシステムの改善 大阪府下、改造助成事業の活性化
	大阪府下		
4	出前講座（予定）	H23 年度 下半期	事業目的：住環境改善のための地域福祉力の育成
	東大阪市民		地域包括支援センター・介護支援専門員・民生員・PTA 等と連携し、市民の共助による住環境改善意識を促進する。
	東大阪市内		
5	(仮) ワンポイントアドバイス冊子発行(予定)	H23 年 10 月予定	事業目的：東大阪市内に所属する介護支援専門員を支援するために、住宅改修アドバイス集を作成し、無料配布する。
	介護支援専門員他		介護支援専門員が積極的に住宅改修等に関わり、適切な計画のもと、高齢者や障がい者が安全で安心した暮らしを実現する。
	東大阪市内他		
6			

東大阪部会 平成 23 年度活動計画 (H23/7/1～H24/6/30)			
B：部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
No	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		成果
	場所		
1	定例部会(月 1 回開催)	H22 年 7 月～第 3 土曜	目的：東大阪活動における情報の共有と促進 内容：活動の報告・連絡・検討
	検証メンバー全員予定		チームで取組、公正・適切、且つ、迅速な検証活動を行うことによって、 高齢者や障がい者等の在宅生活の継続に寄与する。
	大阪市立社会福祉センター他		
2			
3			
4			
5			
6			

東大阪部会 平成 23 年度予算計画 (H23/7/1～H24/6/30)

事業・部会 No	事業名	収入	支出		余剰金
A-1	東大阪市高齢者・重度障害者住宅 改造費助成制度適正検証事業/	3,150,000	2,520,000		630,000
			諸謝金	2,190,000	
			旅費交通費	252,000	
			消耗品	78,000	
A-2	東大阪市介護保険住宅改修適正 検査事業	3,456,600	2,765,280		691,320
			諸謝金	2,410,000	
			旅費交通費	276,500	
			消耗品	78,780	
A-3	大阪府下自治体バリアフリー施 策実態調査	0	150,000		△150,000
			諸謝金	100,000	
			通信費	40,000	
			消耗品	10,000	
A-4	出前講座(予定)	0	120,000		△120,000
			諸謝金	100,000	
			旅費交通費	10,000	
			消耗品	10,000	
A-5	(仮)ワンポイントアドバイス冊 子発行(予定)	0	730,000		△730,000
			諸謝金	250,000	
			外注費	450,000	
			通信費	30,000	
合計		6,606,600	6,285,280		321,320
			諸謝金	5,050,000	
			旅費交通費	538,500	
			消耗品	176,780	
			通信費	70,000	
			外注費	450,000	